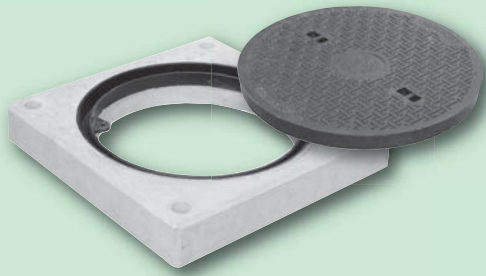


耐荷重

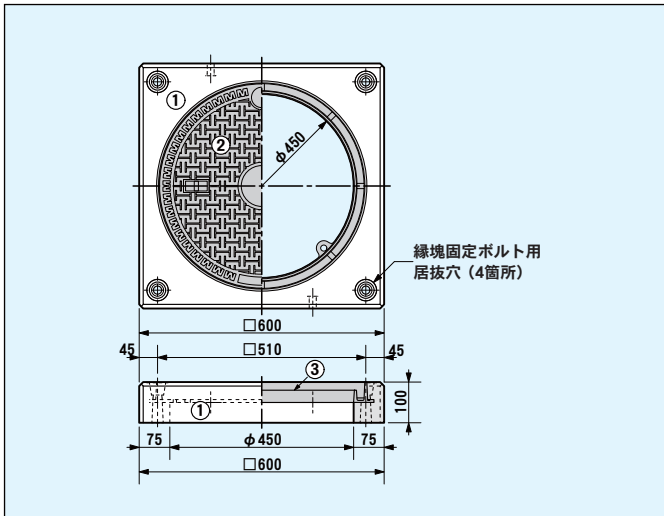
T-20
敷地内
1輪 50.0 kN※鉄蓋の種類
による

縁塊 450×100S (角型)/HR2K

型式：MHF450R-H100F-S(+ HR-02K450)



■縁塊 450×100S (角型) 図面



■部材詳細

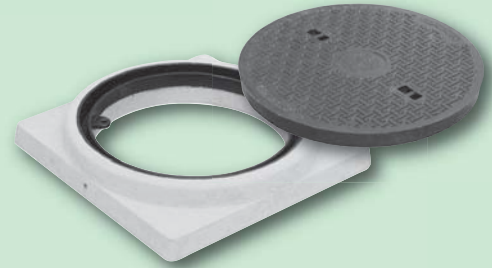
番号	部品名	材料	備考
①	縁塊本体	RC	
②	蓋体	FC or FCD	蓋体と受枠は同一メーカーの同じ型式のものでないと合いません
③	受枠	FC	

■部材表

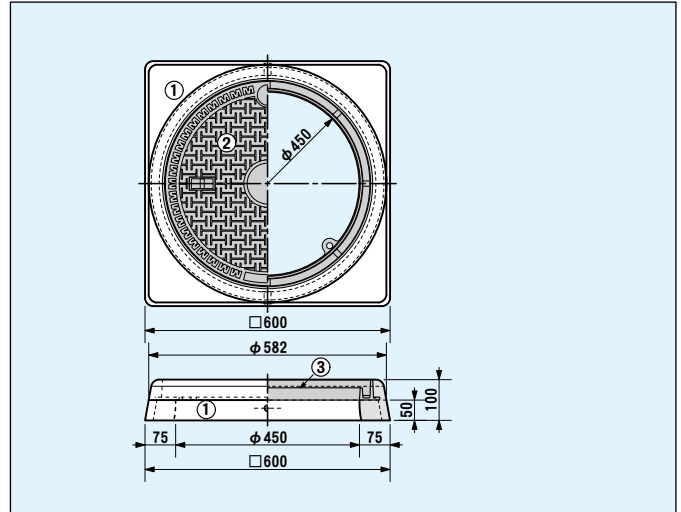
製品名	型式	参考重量 (kg)
縁塊 450×100S (角型)	MHF450R-H100F-S	50(蓋体を含まず)
縁塊 450×100R (丸型外角)	MHF450R-H100F	37(蓋体を含まず)

縁塊 450×100R (丸型外角)/HR2K

型式：MHF450R-H100F(+ HR-02K450)



■縁塊 450×100R (丸型外角) 図面



※左記部材表の製品名及び型式は鉄蓋を含んでおりません。
製品をお求めの際は必ず鉄蓋の種類もご指定下さい。

■縁塊450の高上げ方法

エンカイ

- 縁塊450の高上げには、85ページに掲載の角型調整ブロック450を用品です。
- (角型)の場合、62ページに掲載のMHS450 \square ×700(60)下部に対してM12のボルトで貫通固定します。(マルチンサートφ450の利用も可能です※)
- (丸型外角)の場合、ボルト固定に未対応なので別途接着剤等をご利用下さい。

M12ボルト×4箇所固定

(丸型外角)の場合は積み上げのみ

※マルチンサートφ450と厳密には寸法が異なるため、貫通穴にボルトが干渉する事もあります。